

2025年度第1回ぎんなん地域連携推進会議 会議録

2025 年 9 月 16 日 (火)		司会 記録	新井健二
議 題	主催者あいさつ(ぎんなん管理者)		
	出席者自己紹介		
	1 開催趣旨について		
	2 事業概要及び利用者状況について		
	3 施設見学		
	4 見学後の印象や質疑応答 ア 施設設備等について イ 利用者の生活の様子について ウ 職員の様子について		
	5 その他 (1)その他の取組みについて (2)次回の開催方法及び議案内容等について (3)その他		
■開催場所及び日時 :ぎんなん(リビング) 2025年9月16日(火) 14時30分～15時45分			
■参加推進員(4名) 推進員名:F様(利用者代表)、K様(家族代表)、T様(地域関係者) Y様(福祉関係者)、(行政関係者は欠席)			
■参加職員 : 小野寺修三(ぎんなん管理者)・新井健二(ぎんなんサービス管理責任者)			
◇主催者あいさつ(小野寺)			
(要旨) この推進会議は、地域の方と利用者と運営サイドが一堂に会して話し合える場として非常に貴重な機会設定であると考えております。 初めての貴重な機会でございますので、この推進会議の目的が少しでも達成されますようお願い申し上げます、あいさつに代えさせていただきます。			

◇推進員自己紹介

2025年度 推進員名簿順に自己紹介を行う。

■議題

1 地域連携推進会議の開催趣旨について(再確認)

資料1を参照しながら、地域連携推進会議の目的・内容・効果について、ぎんなん管理者から説明がなされた。

<説明内容についての質疑応答>

○T様より「地域連携推進会議」の実施要請は、どのような機関から出されたものなのかという質問があり、「厚労省」であることを説明している。

○T様より、説明の中にあつた「第三者評価制度」とは、GHにおいてどのような役割を果たすのかという質問があり、「地域連携推進会議」が「第三者評価制度」と同様の役割を担うものと厚労省は考えており、どちらかの実施体制があれば良しとされていると説明している。

○K様より、施設訪問について推進員がどこかの施設を見学し当GHとの比較をすることで、意見等を述べることを求めているのかとの質問があり、同法人等で複数のGHがあればそれらを見学するが、他の法人のGHのことではなく、施設訪問とは当GHのことを指すことを説明している。

○Y様より、入居者の皆さんが通う日中活動事業所には何時まで居るのかとの質問があり、15時30分まで滞在し、送迎車を利用して約15時40分頃に帰寮していることと、1名だけ自転車での通業者がいることを説明している。

○Y様より、自分が勤務している事業所では職員体制が整わず、土日は帰省していただいている事業所もあるが、こちらのGHではどのような現況となっているのかとの質問があり、両親がすでに亡くなられた方が1名おり、どうにか職員数も確保しているため夏季と冬季に1日ずつ閉所した程度で、ほぼ一年中開所している。2名の方が本人や家族の希望により週末帰省をしており、1名が母親はまだ健在だが、高齢のため毎週は厳しいとの意向があり、隔週で帰省されていることを説明している。

2 ゐんなん事業概要及び利用者状況について

資料2を参照しながら、資料に沿ってぎんなん管理者から説明がなされた。

(1) ぎんなん設立経緯

法人沿革とぎんなん設立経緯について管理者から説明がなされた。

ぎんなんの設立については、利用者家族からの強い要望があり、計画を進めたという経緯について説明がなされた。

(2) 利用者状況について

4名の利用者について、障害特性等も含めてそれぞれの利用者について説明がなされた。

(3) ぎんなん職員体制について

利用者支援体制について説明がなされた。

(4) 2024年度ぎんなん利用実績について

開所日数365日・1日の平均利用者数3.1人であった旨説明された。

(5) 2024年度 主な年間事業について

前段に、1日の生活の流れの説明があり、その後、2024年度の主な年間事業について説明がなされた。

(6) 説明内容についての質疑応答

○T様より「世話人」の雇用状況（開設前に地区の回覧板を利用して募集した経緯があり、地元の方の採用人数）や勤務時間、勤務体制等の質問があり、現況を伝え勤務表を用いて説明している。また、宿直勤務を実施する上で労働基準監督署への書類の届け出の必要性や、勤務形態について説明している。

○T様より、業者から湯煎等で食事が用意できる献立を発注していることを説明した際に、誕生日等で用意できる特別食はないのかとの質問があり、1食あたりの同じ値段で月ごとにいつでも発注できる特別メニューを複数献立として用意してくれているため、誕生者にはその中から選んでもらい発注していることを説明している。

3 施設見学

グループホームの内外の見学を実施。本人・家族の了解のもと居室内の見学も実施した。

4 見学後の印象や質疑応答

(1) 見学中に出された質問を出席者全員で共有した。

T様:入居者の洗濯状況について質問があり、1階の入居者については職員が行っているが、2階の入居者については、洗剤の量や干し方など一部介助等はするものの、本人が行っていることを説明している。

(2) 見学後の印象について伺った。

T様:2階の居室が、広い(8畳)印象について話している。

(3) その他の質問等

なし

5 その他

(1) 質疑応答になかった取り組みなどについて

ア「利用者満足度アンケート」の取り組みについて、説明している。

アンケート対象利用者が4名しかいないが他の実施事業と併せて実施している。実施結果は、概ね提供しているサービスについては利用者に満足頂いている結果となっている。

地域との交流機会の希薄さが課題となっているとの説明がなされた。

(2) 次回の開催方法及び議案内容等について

出席者からの意見要望等

○T様より、地域との関係づくりにおいて区長との相談のもと、防災訓練を一緒に行うことを模索してみてもどうかという意見をいただく。

(3) その他

職員・利用者の紹介

当日勤務の世話人1名・帰寮した利用者3名を推進員の方々へ紹介させていただいた。

以上